

食品安全委員会 国際専門家招へいプログラム  
「農薬の急性参照用量（ARfD）の設定に関する国際シンポジウム」

主催 : 内閣府 食品安全委員会  
日時 : 平成27年10月7日（水）14:00～17:00  
場所 : 日本学術会議講堂  
参加者 : 219名

プログラム

イントロダクション 日本における農薬のARfD設定の現状  
吉田 緑（食品安全委員会）

トピック1：ARfD設定の概要

講演① Dr. Roland Solecki（ドイツ連邦リスク評価研究所（BfR）農薬安全部長）

講演② Dr. Vicki Dellarco（コンサルタント（前・米国環境保護庁（EPA）上席科学アドバイザー）

トピック2：反復投与試験からの急性影響の見付け方（特殊毒性を含む）

講演① Dr. Roland Solecki（ドイツ連邦リスク評価研究所（BfR）農薬安全部長）

講演② Dr. Vicki Dellarco（コンサルタント（前・米国環境保護庁（EPA）上席科学アドバイザー）

概要 : 食品安全委員会 吉田緑委員より、日本における農薬のARfD設定の現状を紹介した後、農薬の国際的なリスク評価機関である JMPR（FAO/WHO 合同残留農薬専門家会議）のガイダンス作成で中心的な役割を果たした、ドイツ連邦リスク評価研究所（BfR）の Dr. Roland Solecki 及び元米国環境保護庁（EPA）の Dr. Vicki Dellarco より、ARfD 設定の考え方などについて情報提供がなされ、最後に会場を交えてのディスカッションを行いました。